

2024年度 グッドプラクティス塾 ネイチャーポジティブ×ウォーターポジティブ ～流域水環境の上流・下流の統合的な取組～

2024年

開催
日時**11月26日(火)**
15:00～16:30

グッドプラクティス塾とは

健全な水環境・水循環の実現に向けて、企業、自治体、教育・研究機関等、あらゆるステークホルダーの参加や連携を促すための情報共有・意見交換の場です。

※過去の開催結果は[こちら](#)

話題提供



流域水環境における ネイチャーポジティブの国内外の動向

国立研究開発法人土木研究所
流域水環境研究グループ長

中村 圭吾 氏

1994年大阪大学・土木工学科卒、同年建設省入省。土木研究所を中心に、スイス連邦工科大学客員研究員、国土交通省課長補佐、福井河川国道事務所長等を経て現職に至る。専門は、河川環境、生態工学であり、河川・湖沼の自然再生を中心に研究。最近は、グリーンインフラ官民連携プラットフォームの技術部会長としてグリーンインフラやネイチャーポジティブの推進や社会実装にも研究×行政×現場の経験を生かして幅広く取り組んでいる。

事例発表



三菱地所の流域を意識した ネイチャーポジティブに向けた取組

三菱地所株式会社
サステナビリティ推進部

松井 宏宇 氏

奈良県出身。総合ディベロッパーである三菱地所と大手町・丸の内・有楽町エリアの環境共生型のまちづくりを担うエコツツェリア協会を兼務、生物多様性とまちづくりの両立のための活動を展開。



「森と水は、一つに。」 都市と山村をつなぐ循環型経済： 水源保全と森林活用による 持続可能なまちづくりの実現

一般財団法人もりとみず基金 事務局長
(土佐町 企画推進課 SDGs推進室長)

尾崎 康隆 氏

高知市出身。東京の民間企業、高知県庁を経て、2019年に土佐町役場入庁。SDGs担当として森林と水の関係に着目し、都市と山村の共生を目指す。その一環で2024年、もりとみず基金を設立し事務局長に就任。森林保全と地域活性化の両立に取り組んでいる。

質疑応答・意見交換

企業・自治体が今後取り組むべき流域水環境の上流・下流の統合的な取組について意見交換します。

申込方法

お申込みは[こちら](#)から

フォームからのお申込みができない場合には、メールにてお問い合わせください。

■お問合せ：グッドプラクティス塾事務局(西、鈴木)
r6disclosure.support@jp.ey.com

【参加申込フォーム】

